

入、火の用心もあしく候、万事に損なるもの二候事

一年貢を出し候義、反別にかけては壹反二付何ほど、高にかけては壹石に何ほど割付、差紙地頭代官よりも出し候、左候えば耕作に精をいれ、よく作り、取実多くこれ有

れば其身の徳に候、悪候えば人しらず身上の

★差紙（さしがみ…指令、年貢割付状のこと）

ひけに候事

一御年貢皆済の砌、米五升六升壹斗につまり、何とも仕るべきようこれなき時、郷中をかりあるき候えども、皆済時分たがいに米これなきよし、かさざるによつて、米五升壹斗に子供又は牛馬もうられず、農道具・きる物杯売らんとおもえば、金子壹分にて仕立候を

★ひけ（引け…価額など減ずること）

年貢皆済（ねんぐかいさい…年貢を残らず納めること、皆納）